

PubMed を中心に

諏訪部直子

杏林大学医学図書館

1990年代にインターネットが普及して以来、多くの学術情報がネット上で公開されるようになりました。なかでも医学・生命科学分野に関わる世界中の人々に大きなインパクトを与えたのは、1997年6月にPubMedが無料公開されたことです。長年 Index Medicus や CD-ROM MEDLINE を購入し、オンラインサービスベンダーに検索料金を払うのが当たり前だった私たちにとって MEDLINE が無料で一般公開されるということは予想もしなかったことでした。

それから9年経過し、度重なる改良が加えられて便利になった PubMed は、もはや医師や研究者だけでなく、図書館の日常業務にもなくてはならない身近なツールとなりました。しかし思いついたキーワードを入れただけで簡単に文献検索ができる手軽なデータベースであるという反面、その検索ロジックを知らなければ思いがけない結果になることがあります。また、知っているサービス向上に生かせる機能がどんどん追加されています。

本コースでは、初歩的な検索をマスターしている方を対象に、PubMed の便利機能や最新情報、検索のコツをご紹介します。

[PubMed の便利な機能の例]

LinkOut

- ・自館で提供している電子ジャーナルへのフルテキストリンク
- ・自館で所蔵している雑誌の所蔵アイコン表示と所蔵情報へのリンク

MyNCBI

- ・検索式と検索結果の保存
- ・検索結果を好みのフィルターにかけ、タブにまとめて表示
- ・検索キーワードを検索結果表示にハイライト
- ・個人でも機関単位でも設定ができる

RSS

- ・登録した検索式を自動的に検索して結果を表示する